

## 第2回「家庭教育応援隊養成講座」

上北地区：7月12日（金） 三沢市キッズセンターそらいえ 受講者13名

下北地区：7月19日（金） むつ市中央公民館 受講者12名

第1回講座を通じ、参加者同士がつながりを持ち始め、それぞれが自ら学ぶ意味を再確認し、お互いの向上心に刺激を受けながら迎えた第2回講座。

今回は、支援者に寄り添うための「傾聴についての講義」と、家庭教育支援のためのテキスト「あおもり親楽プログラムの活用」について学ぶ演習を行いました。

### 午前：講義「傾聴と親が育つ支援のあり方」

講師 青森教育カウンセラー協会 副代表 佐々木 順子 氏

#### 講義要旨

- 「傾聴とは、その字が示すように、耳と目と心で相手の身になって聴くことです。」
- 「問題に出会った時、解決する力は、相談者自身の中にあります。支援者は、その力を引き出すお手伝いをすることです。」
- 「自己肯定感を高める I（アイ）メッセージ『ありがとう』『うれしい』『助かった』を、シャワーの如く、子どもたちに（大人にも！）降り注がせたいものです。」



「傾聴と親が育つ支援のあり方」と題し、家庭教育支援において相手の話を聴くための心構え、より良い傾聴の仕方、問題解決に向かうための働きかけ方、さらには自己肯定感を高めるための上手な褒め方など多様な支援方法について学びました。

また、併せて自分を理解するための演習として「エゴグラム」や、自分を見つめ直す「リフレーミング」を行い、受講者からも「自分を知るとてもいい機会をいただいた。」「自己肯定感の大切さも改めて実感した。」等、多くの反響がありました。

### 午後：演習「あおもり親楽プログラムⅠ」



あおもり親楽プログラムとは、子どもの理解や親子の関わり方等、子育てに必要なスキルについて、親同士が身近なエピソードやワークを通して話し合い、主体的に学ぶ「参加型の学習プログラム」です。本講座を規定どおり受講し終えると、「あおもり親楽プログラム」を使った研修会の進行役である「あおもり家庭教育アドバイザー」に申請、登録することができます。

この日は、進行する上でどのような注意が必要か、その都度ポイントを確認し、一受講者になったつもりで体験していただきながら、このプログラムの有効性を学ぶとともに、進行役としてのイメージをつかんでいただきました。

#### （受講者の感想）

- ・ 「傾聴」について。非言語の重要度におどろいた。教育者であり、子育て経験もある講師の話だったので、共感できる部分が多く、素直に心に入ってくる話だった。
- ・ 「言葉」のすごさ、大事さを学びました。視点を変えて「見る」と違う感じ方ができることに気づきました。
- ・ 親楽プログラムで、様々な意見に出会えて良かったです。また、チームでの話し合いや意見交換もなるほど、という思いでした。研修会もだいが参考になりましたが、自分がいざやるとなると少し（かなり）不安ですが…

講義・演習を通じ、参加者同士の様々な考え・感じ方の交流が見られた第2回講座でした。

次回の演習では、「あおもり親楽プログラム」進行役に挑戦です。